



編集・発行 鶴ヶ島市農業委員会
〒350-2292 鶴ヶ島市大字三ツ木16-1
Tel. 049-271-1111 (代表)

「みんなおいで、新鮮野菜がやすいよ」 軽トラ市



お茶に、お花
地元の野菜

「どうぞ、見てください。」
「いかがですか。」

12月9日(土) 鶴ヶ島市役所駐車場にて、
・市内生産の新鮮野菜の消費拡大
・農産物生産者と消費者の交流
を目的に、「軽トラ市」が開催されました。
会場のあちこちで、売り込など明るい声が聞こえた楽しい一日でした。



夫婦で一緒にできる「農業は最高」 - 新規就農者：藤本浩さん -

農業は天候に左右され、計画を立てても思いどおりに進まない。作物被害にあうとへこむこともあるが、農業を第二の人生として選択したことに悔いはないと語る藤本さん。笑顔が素敵です。

◇環境にやさしい循環型農業との出会い

藤本さんは、公立高校の事務職として働いた赴任先で知り合った農家を通して、環境にやさしい「循環型農業」に出会い、農業に興味を湧いたといいます。

50歳を超えて、農業大学校に半年間(週1回)通い、農業を学びました。その後2年間実施研修として、五味ヶ谷地区で野菜を生産し、昨年の4月に就農しました。



◇消費者の反応がダイレクトな農業

畑での対面販売は、地域との交流が図れるだけでなく、消費者の反応がダイレクトに戻ってくる真剣勝負の場であり、そこに醍醐味を感じるといいます。

スーパーに出荷する際は、なるべく朝に採れたものを陳列するなど、鮮度にも気を使います。

「安心・安全、鮮度という付加価値を価格にのせても、消費者はきっと理解してくれる」。

◇就農の先輩方との交流が励み

五味ヶ谷地区は、農地がきれいに管理されています。そんな地区で、縁もゆかりもない人間が農業を始めただけで、少なからず注目され「恥ずかしくない耕作をしなければ」と緊張しました。

指導農家の方や就農者の先輩方からは、様々な援助もいただき、大きな励みになりました。

「人とのつながりは大切。地元の皆さん、特に高齢者の方を中心に、広がっていることがうれしい」。



鶴ヶ島市の農業委員・農地利用最適化推進委員を紹介します

【任期：平成29年4月30日（最適委員 平成29年5月1日）～平成32年4月29日】

農業委員

農業委員会における議案審議、農地利用の最適化の促進に向けた活動を行います。



【会長】伊藤 邦夫



【職務代理】須藤 良春



小川 佐智恵



新井 春夫



山崎 純照



比留間 正道



内野 正子



滝島 光雄



町田 弘之

農地利用最適化推進委員

農業委員と連携し、担当する区域の遊休農地解消など、現場を中心に活動します。



高沢 健二
地区：脚折・脚折町



小川 清志
地区：高倉・下新田・羽折町
中新田・新町・上新田
町屋



福島 義博
地区：三ツ木・太田ヶ谷・柳戸町
三ツ木新田・三ツ木新町



村野 利文
地区：藤金



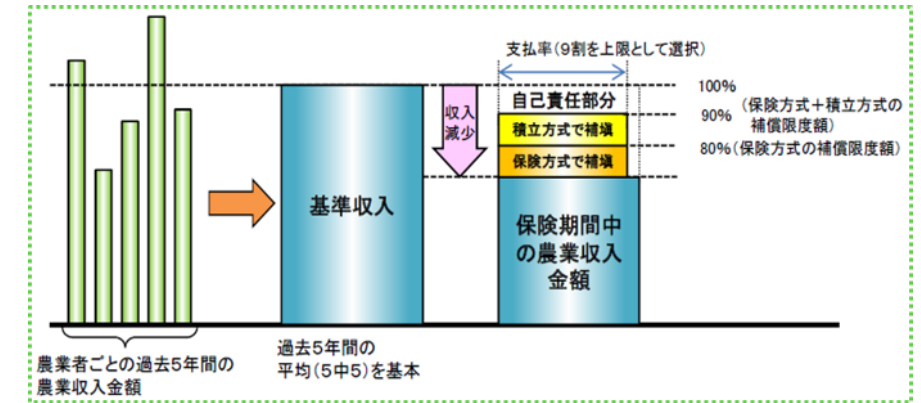
滝嶋 英雄
地区：上広谷・五味ヶ谷・鶴ヶ丘
富士見・松ヶ丘・南町



収入保険が平成31年からはじまります！

収入保険の特徴

- 収入保険では米、野菜、果樹、花、たばこ、茶、しいたけ、はちみつなど、農産物ならどんな品目でも対象になります。
(経営安定特別対策事業等により補てんされる肉用牛・肉用子牛、肉豚及び鶏卵は対象外です)
- 自然災害だけでなく、価格低下やけが、病気などによる収入の減少も補償の対象となります。
- 収入保険に加入するために必要な青色申告は、簡易な方式でよく、1年以上の実績があれば加入可能です。
- 「掛捨て保険方式」と「掛捨てとならない積立方式」の組み合わせで補填します。補償限度、積立方式の補償幅及び支払率は農業者が自由にお選びいただけます。
- 保険料の掛金率は約1%程度、積立金は25%です。(別途事務費がかかります)



NOSAI 農林水産省HP、NOSAI埼玉HPでも情報公開中！

加入条件や詳しいことは、お近くの埼玉県農業共済組合にお問い合わせください。

本所 048-645-2141 Mail honsyo@nosai-saitama.jp
中部統括支所(川越) 049-235-3711



鶴ヶ島市の農地・農業の意見交換会

日時 平成30年2月7日(水) 午後6:00～
 会場 農業交流センター 研修室
 対象者 農業に従事する方、農業関係団体
 内容 農地利用や農業に関する意見交換、その他

＜農業者年金に加入しましょう＞

農業者年金制度についてお知らせします。

- ・ 少子高齢化時代に強い積立方式
- ・ 保険料は自由に決められ80歳まで保証付き
- ・ 保険料は所得税の社会保険料控除の対象

「全国農業新聞」のご購読を

農業新聞は一般紙やテレビ等では報道されない、農業関連の情報が盛りだくさんです。

- ・ 毎週金曜日発行、購読料は700円/月です。

※ 問合せ先 鶴ヶ島市農業委員会 事務局 Tel 271-1111 (市役所代表) 内線 223